

## フェストロリウム「東北1号」は排水不良な耕作放棄水田跡地等でも導入できる

### 研究のねらい

2009年度に国内初のフェストロリウム品種「東北1号」が登録される。フェストロリウムは耐湿性が高いとされており、従来の牧草の導入が難しい過湿な水田跡地向けの新牧草として期待されている。そこで「東北1号」の水田跡地への導入適性を明らかにする。

### 成果の内容

- ①フェストロリウム「東北1号」は、オーチャードグラスやリードカナリーグラスが導入できずイグサやスゲが優占するようになった排水不良な耕作放棄水田跡地でも、排水良好な条件と同等の収量性が認められる(図1)。
- ②耕作放棄水田跡地に導入したフェストロリウム「東北1号」の利用初年目は、年間約1250kg/10aの乾物収量が期待できる(表1)。

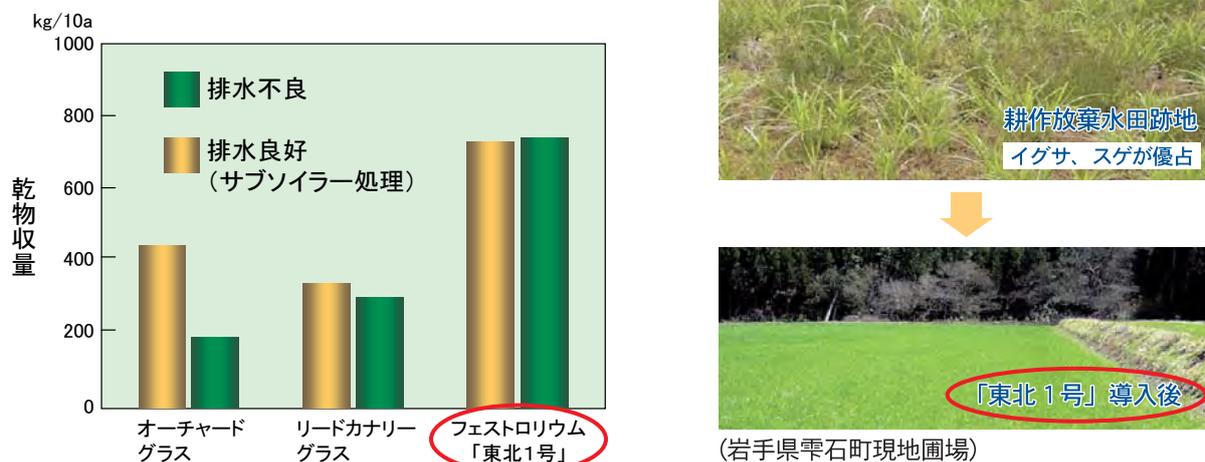


図1 現地耕作放棄水田跡地における1番草乾物収量の比較 (現地プロット試験成績)

表1 現地耕作放棄水田跡地に導入した「東北1号」の利用初年目の年間乾物収量(実収量)

	1番草 6/8(穂揃い期)	2番草 8/6	3番草 9/24	年間
乾物収量(kg/10a)	847	345	60	1252
ロールペール個数(個/10a)	4.7	2.0	0.4	7.1

ロールペールサイレージ: 直径120cm、250kg/1個、水分約37%

### 成果の利活用

- ①播種後の秋期や雪解け時の春期に、長期(10日間程度)にわたり水位が上昇するような排水不良な耕作放棄水田跡地等に導入する牧草を選定する際の参考となる。
- ②2、3番草の草勢維持のためには、1番草収穫時にトラクターの轍ができない程度の乾湿状態であることが望ましい。

